

# 05 消防庁

総務課

川端 元子

## “現場を支える”責任と喜び

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁



### PROFILE

Motoko Kawahata

平成25年4月 総務省採用  
現職

### ■ 仕事の内容

## 霞ヶ関から、現場を想う

総務省消防庁は、「消防」とはいえ直接現場での活動をするわけではなく、制度・法令の整備や車両の配備等を通じ消防行政を国の立場から支える役割を果たす組織です。また、災害発生時には災害対応の司令塔としての機能を担う役割を持つ組織でもあります。

私は入省1年目にこの消防庁の総務課へ配属され、主に消防庁予算の執行に係る会計処理業務に携わり、予算編成時期には、概算要求書や予算書関係書類の作成業務、翌年度予算を決定していくヒアリングの場でのメモ取りや資料のとりまとめなどを担当しました。

多くの人のひとつひとつの仕事がつながり、政策が全国各地の現場へ確かに届けられていく過程の一端を担わせて頂いている責任を感じ、また、人や現場との出会いに恵まれた環境の中で、今自分が関わる分野において自分の立場で何ができるだろうかと考えさせられたこの1年間は、この仕事を選んだ者としての幸せを常に感じる事が出来る日々でした。

### ■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

## “ふるさと”への想いを力に

全国各地に“ふるさと”を持つ人々が、「日本全国の現場のため」というひとつの志の下で働く場所であること。その環境で、現場を第一に想い、現場の最前線である地方を応援する事に携われること。これが、総務省という組織の魅力であると私は思っています。地方の現場が、変化の中でも前向きに頑張っていくための応援をする仕事がしたい。理屈や理想だけではない、現場に納得してもらえ、仕事がしたい。そう思っていた私にとって、総務省は、ここしかない！と思える職場でした。

国か地方か、どの省庁・自治体か、迷っている皆さん。総務省には、この場所だから出来る働き方があります。出身地や出向先の“ふるさと”を愛してやまない職員、“ふるさと”を支えてきた現場のプロの皆さんと共に、日本全国の現場をもっと元気にするための挑戦をしてみませんか？

霞ヶ関での地方の仕事を、ぜひ見いらしてください！

### ■ PRIVATE TIME

平日は、職場の先輩と飲みに行ったり、消防庁のフットサル部・マラソン部の活動に参加したりと、職場のイベントを楽しんでいます♪ また今年の休日は、弾丸の一人旅や同期旅行等々、積極的に日本各地へ出かけました。まだまだ行ったことのない場所が多いので、来年以降も知らない土地を訪ねて行けたらと思っています！



### とある 一週間

#### ■ MONDAY

明け方、携帯に地震速報を受信！大きな災害が発生すると、365日24時間時間を問わず職員に連絡が入ります。

#### ■ TUESDAY

今月の執行額が出そろったので、システムへ登録。絶対に間違えられないので、気合を入れてチェックします。

#### ■ WEDNESDAY

今日は消防庁課室対抗フットサル大会！職員一同仕事を切り上げ、試合会場へ！

#### ■ THURSDAY

他課室から、補助金業務に関する相談が。関係法令を整理し、なすべき対応を探ります。

#### ■ FRIDAY

全員参加の徒歩参集訓練。自宅から、2時間かけて職場に到着！TV取材も受け、防災行政に対する関心の高さを実感しました。